

居心地 Good! ?

桔梗中学校図書室

図書室はみんなのための場所

2021年12月発行
桔梗中学校 学校司書



中1ギャップをふせぎたい

児童書中心の小学校と蔵書構成が大きく違う中学校の図書室は難しい本だらけのイメージで敷居が高い。そこで挿画が多く手に取りやすい入門書や朝読おすすめ本、中高生向けに刊行されたシリーズなど読みやすい本をまとめ、目につきやすい入口付近に配置しました。教科書で紹介されている本の特集コーナーなどもあります。

図書室は世界の入口

ベストセラー小説ばかりを購入してその他の分野は見えて見ぬふり、そんな図書室に魅力はありません。これからの未来を生きるために知っておきたい社会や科学の情報、相談しにくい心や体の悩みに関する本もあります。イチオシ本にはPOPをつけて、目指すのはなんとなく気になる1冊と出会える図書室です。



案内人は馴染みの子

桔梗中生の多くは学校司書の派遣先の小学校から進学してきます。せっかくなので小中図書室に共通性を持たせたい！そこでPOPやサインなどの掲示物に同じキャラクターを使用しました。キャラクターが親しみやすいのか手作りの掲示物には好意的な反応も。注意書きでも見て楽しい、温かい気持ちになれることを願っています。



学校司書の独り言

学校司書が初めて配属された3年前、図書室は荒れ放題でした。まずは本を分類し、ラベルを貼り、レイアウトを見直し…と少しずつ手を加えたところ、「明るくなったね!」「快適だ!」との声がもらえるようになりました。図書室は気軽に入れる居心地のいい空間であるべきだと思います。コロナ禍の難しさはありますが、逆戻りしないよう、持続的に手を加えていく必要性を感じています。